

CT発売20周年記念講演会

Digital Integration

包括的かつ、日常風景の一部のようにデジタル機器を使いこなし活用する為のご提案

配信期間 2021.10.24 sun 10:00~16:30

※ライブ配信のため時間は前後する可能性があります。予めご了承ください。

申込期間 2021.8.20 fri >>>10.11 mon

参加費 3,000円 (税込)

※上記参加費をお支払い頂くことで、配信スケジュールに掲載されているすべてのWebinarがご覧いただけます。
 ※入金確認後、配信開始日約1週間前より順次、受講用のメールをお送りします。
 ※あらかじめ余裕を持ってお申込みいただけますようお願いいたします。
 ※当WEBセミナーの受講は、お申込みいただいたご本人限定とします。
 ※当WEBセミナーの録画、録音、撮影など、一切の記録や複製によるアップロードなどの配信を禁止します。
 ※参加用URL・ID・パスワード配信後のキャンセルによる参加費の返金はいたしかねますのでご了承ください。

開催場所 ZOOM配信ですので、ネット環境が繋がる場所ならば閲覧可能です。
録画・スクリーンショットはお断りしています。

お申込み WEBにてお申込みください。参加案内はお申込みのうえEmail アドレスへ送信致します。
 ※お申込みには、モリタ友の会に登録(無料)が必要です。有料会員様はアドレスをご登録の上でご視聴いただけます。
 ※ドメイン指定受信設定をされている場合は、morita-seminar@morita.comを受信できますよう設定変更をお願い致します。

お問合せ 株式会社モリタ デジタルデンティストリーフォーラム東京事務局
 東京都台東区上野2-11-15 TEL:03-3834-6164 FAX:03-3834-4076

お申込みはWEBにてお願いいたします。

CT発売20周年記念講演会

Digital Integration

包括的かつ、日常風景の一部のようにデジタル機器を使いこなし活用する為のご提案

配信期間 2021.10.24 sun 10:00~16:30

申込期間 2021.8.20 fri >>>10.11 mon

お申込みWEB 検索

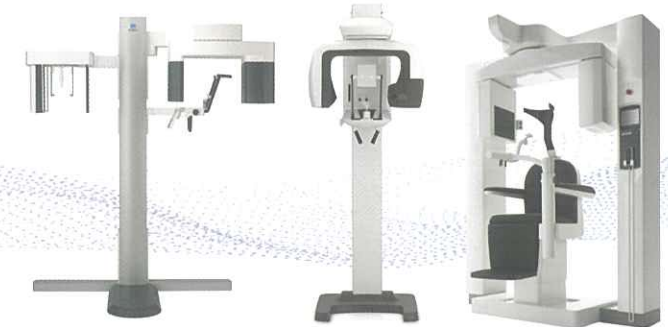
ご記入いただいたお申し込み情報は、モリタ個人情報収集方針に準じ厳密に取り扱いたします。https://www.dental-plaza.com/policy/



携帯電話・スマートフォンからもお申込みいただけます。



MORITA
CT 20th
ANNIVERSARY



CT発売20周年記念講演会

Digital Integration

包括的かつ、日常風景の一部のようにデジタル機器を使いこなし活用する為のご提案

LIVE WEBINAR ▶ 2021.10.24 sun

Digital Integration

包括的かつ、日常風景の一部のようにデジタル機器を使いこなす活用する為のご提案

画像解析に革命を起こして、はや20年が経とうとしていますが、まだまだCTの有効的な活用法に悩まれている先生方も多くいらっしゃいます。今回はそんな先生方へ向け、より良い使い方の提案、及び感謝の気持ちを込めつつ、更なる飛躍を目指します。

しやいます。気持ちを含めつつ、更なる飛躍を目指します。



タイムスケジュール

10:00～ 開会の挨拶

10:10～10:40 画像診断・大学教育

“巧の技”から生まれた小照射野高解像度歯科用CT“3DX”

発売20周年を迎えた“3DX”は、当時は開発不可能といわれていた。この開発を成功に導いたのは、モリタ製作所100年の歴史が育んだ“巧の技”で得られた精緻なアナログX線画像であった。これをデジタルに変換することで、世界最高のCT画像を実現することが可能となった。実は、この“巧の技”は最先端のDigital Dentistryの根幹にもなっている。本講演ではその“最先端を支えているコンセプト”を明らかにする。



教授 新井 嘉則 先生

日本大学歯学部歯科放射線学講座

1988年 日本大学歯学部大学院卒業
2004年 松本歯科大学大学院
硬組織形態制御再生学講座 教授
2019年 日本大学歯学部 教授

【所属学会】
日本歯科放射線学会指導医・
歯科放射線専門医・理事
日本口腔インプラント学会基礎系指導医
2003年 科学技術政策担当大臣賞
2007年 文部科学大臣特別奨励賞

10:50～11:50 デジタルデンティストリー

デジタルデータを操るための歯科クリニックのシステムづくり

近年、患者から得られる情報はアナログからデジタルへと大きくシフトし、業務効率が向上している。一方で、デジタルデバイスを導入するたびに増加するデータを整理、管理することがデジタル技術をさらに有効利用する鍵になっている。そこで本講演ではこれらのデータを一元管理し、効率的に運用するシステムについて検討したい。



山羽 徹 先生

医療法人山羽歯科医院
とうかえでの道デンタルクリニック院長

1994年 大阪大学歯学部卒業
2013年 医療法人 山羽歯科医院理事長就任
2014年 大阪大学大学院歯学研究科博士課程修了
2021年 とうかえでの道デンタルクリニック開設

【所属学会】
日本臨床歯周病学会
日本デジタル歯科学会
日本口腔インプラント学会認定インプラント専門医
OJ(Osseointegration Study Club of Japan) 理事
3shape Global KOL(Key Opinion Leader)
MPC(Morita Practice Course)Step Up Course
インストラクター

11:50～13:00 休憩

13:00～13:50 デジタル矯正

デジタル矯正治療とCTの活用方法

デジタル化が進み矯正治療の様々な行程が簡便化されたマウスピース矯正治療のシェアが増加している。マウスピース型矯正治療は、バイオメカニクスを基に治療経過をイメージしながら治療計画を立案することが重要である。今回は、アライナー矯正の特性や注意点を説明すると共に、矯正治療にCTが如何に有用であるかについて説明させていただく。



藤山 光治 先生

ふじやま矯正歯科院長

1996年 松本歯科大学卒業
1996年 岡山大学歯学部歯科矯正学講座入局
2002年 ふじやま矯正歯科開院
2004年 岡山大学歯学部大学院卒業
2014年 医療法人ふじやま矯正歯科開院

【所属学会】
日本矯正歯科学会
認定医(2499号) 専門医(246号)
日本歯周病学会
認定医(182号) 専門医(68号)

14:00～15:00 デジタルデンティストリー

デジタルデンティストリーの現在と未来

現在の審美・インプラントを中心とした修復・補綴治療においてデジタル化の波は目覚ましいものがあり、この波の進歩、発展が止まる事は考えられない。CT、X線を一つの例にとってもこの機種が無かったら極端に言うと全く複雑な治療の診断は出来ない。それだけではなく誤った治療の方向に行ってしまうことにもなりうる。長い臨床経験の中でCTを含めたCAD/CAMその他様々なデジタル機種は本当に歯科医の臨床のクオリティを高めると同時に省力化及び時短が可能になった。今後、この潮流はさらに加速化して歯科治療のみならず患者に対するコンサルにも応用されれば、対歯科医への従来の認識をも変える可能性を秘めている。我々歯科医は慎重にデジタルデンティストリーを注視し見守り実践しなければならない。



山崎 長郎 先生

原宿デンタルオフィス院長

1970年 東京歯科大学卒業
1974年 原宿デンタルオフィス開院

【所属学会】
日本臨床歯科学会理事長
IACD日本支部会長
日本歯科審美学会
日本補綴歯科学会
日本デンタル歯科学会
IADFE Asia Regent

15:10～16:10 ベリオ

歯周・インプラント治療におけるエポックメイキング;CBCTの20年

3DX multi-image micro-CT を導入して20年近くになる。今や、日常臨床において診断や治療計画立案に必要な不可欠な存在となっている。私の専門領域である歯周再生療法やインプラント治療においては、その貢献度は非常に大きい。歯周再生療法においては、一次性創傷治癒の獲得は再生療法の成功に大きな影響を与える因子であるが、骨欠損の位置や形態を見極めた上でフラップデザインを考えることが重要である。高解像度の3次元画像により垂直性骨欠損の形態が正確に把握できるので、フラップ・マネージメントやマテリアルの選択などの治療戦略が立てやすい。インプラント治療においては、術前の解剖学的な骨形態や骨梁の把握はもちろんのこと、被ばく線量が少ないので術後の歯槽骨の変化なども比較的容易に行うことができる。今回の講演では、歯周再生療法と審美領域のインプラント治療の長期症例を中心に提示させていただき、3DXの有効性を再度確認してみたい。



宮本 泰和 先生

医療法人泰歯会
四糸丸丸歯科クリニック院長

1983年 岐阜歯科大学(現朝日大学歯学部)卒業
1986年 京都市にて開業
2000年 四糸丸丸歯科クリニックに移転開業

【所属学会】
朝日大学歯学部客員教授
米国歯周病学会会員
日本歯周病学会歯周病専門医
日本臨床歯周病学会会員

16:10～ 閉会の挨拶

院内のデジタルインテグレーションをより豊かにするモリタのデジタル関連製品

